

第3回別院中学校ブロック協議会 議事録要旨

■日時

平成29年3月24日（金）午後4:00～午後5:30

■会場

亀岡市役所 2階 202・203 会議室

■議事

- 1 開会
- 2 前回会議（7/19）以降の主な取組み等について
- 3 今後の進め方について
- 4 意見交換
- 5 閉会

■意見交換発言内容

委員	平成29年度予算の中に、学校間交流の経費と編入が決まった後の物品等の購入費が計上されている。市議会で、まだ方向性が決まっていないのに予算を計上するのはどうかという質問に対して、市長からは地元の保護者の意見や地域の意見をしっかり聞いて柔軟に対応していくということを教育委員会に指示していると答弁された。それについて、改めて教育長の意見をいただきたい。
教育長	予算編成については、準備もできていないのに編入するのはおかしいのではないかとということもあって、一定の準備をすることで、これができるということをお伝えしながら進めていかないといけないのではないかと意見もあった。別院中学校ブロックにおいては、学校間交流をしようとするのであれば、予算を計上しておかないといけない。物品についても、教育委員会としてこんなことができると言えよとの担保として予算を計上しておく必要がある。そういう準備をしたうえで議論していただいて、平成30年度から実施できなければ、できるところは活用して、できないところは予算執行しないという考えであり、市長と同じ考えである。教育委員会としては、平成30年度を一つの目標として提案させていただいているが、議論の中で、編入そのものが無理であると1、2年後なら実施できる等いろいろな意見や方法の中で柔軟に対応していきたい。
委員	編入に賛成の方は、どんな物を準備してもらえるのかという問い合わせがあったと思うが、今は編入に対して反対の意見もあり、議論の途中である。校章やバッジ等、編入が決まった場合の予算は35万円程度で、補正予算でも対応できる。もう少し市民の気持ちを考えるべきであるし、丁寧に進めていただきたい。学校間交流については、趣旨は南桑中学校に編入するためと書いてあった。学校間交流は、小規模校を存続させるための手法でもあるので、その面では有

	<p>意義なものであるが、編入ありきになっているため、理解が得られないのではないか。</p>
教育委員会	<p>別院中学校は、小規模校であるため、より大きな規模の学校と交流することは多くの面で有効だと考えている。その部分を念頭において、編入ありきではないが、やってみる中で子どもがどういう気持ちになるかを確認させていただきたい。どうしてもダメであれば、立ち止まって考えなおしていかないといけない。まずは、子どもの状況を観させていただきたい。</p>
委員	<p>保護者には、そういうことを説明したうえで実施するのか。</p>
教育委員会	<p>実施する際には説明させていただき、理解を得る中で進めていきたい。</p>
委員	<p>保護者は、交流したうえで判断すると言われても、何回交流ができるのか、本当に子どもたちが南桑中学校に馴染めるのかをどの時点で誰が判断するのかを心配だという声も聞いた。そのことについてはどうか。</p>
教育長	<p>時期については、いつとは言えない。まずはやってもよいという雰囲気を作らないといけないし、そのうえで別院中学校と南桑中学校が協力して、いろいろな取組をしていただいて、その後に別院中学校の子どもの気持ちを確認させていただきたい。子どものうち一人でもダメなら編入はできないだろうし、別院中学校から南桑中学校へ行って勉強したいという気持ちが強いのであればできる限り早く編入させてやらないといけない。子ども第一に考えていきたい。時期は明確にはお示しすることはできないが、これから両校の校長と相談させていただきながら、事業計画を立てて準備をしていただいているので、学校現場の声も聞きながら、示していきたい。ただ、あまり遅くもできないので、できれば二学期の頭くらいで考えていきたい。</p>
委員	<p>二学期の頭から始めて、平成30年4月から編入という計画であるが、子どもには何のための交流であるか説明しないといけないし、説明する先生も困るのではないか。</p>
教育委員会	<p>実施は1学期からで、2学期の頭くらいに判断するようなスケジュール感をもってやりたい。</p>
委員	<p>1月17日の別院中学校での説明会で、一方的に進めているのではないか、白紙に戻してほしいという意見も出ていた。それ以降西別院町では、2月に各種団体長、PTA役員等を集めて会議を開いた。学校がなくなると地域が崩壊するということから始まり、議論を行ったが、統合してほしいという意見は一人もなかった。行政が地元の意見を聞かないなら勝手にすればよいという意見もあった。また、3月には綾部市の上林小・中学校へバスを借りて視察に行ったが、</p>

	<p>45人の小中一貫校で立派に運営されていた。予算的にも15億円かかったとも話されていた。地域に学校とお寺がなかったら地域が崩壊すると私たちは考えており、別院中学校の南桑中学校への編入には反対である。町内でアンケートを取ったが一人を除いて別院中学校を存続すべきという意見であった。地元としては、学校を残すだけでなく、帰村運動を展開しているし、既に中学校や未就学児の子どもがいる家庭が1世帯入ってきた。地域を何とか守っていこうと頑張っている。</p>
<p>委員</p>	<p>子どもの気持ちを考えるなら中学校を残して欲しい。子どもは南桑中学校へ編入されるかもしれないという話が進んでいることを知っている。その中で交流活動をしたら、子どもたちも、やっぱり南桑中学校に行くのだと察しがつく。するとその環境に慣れようと努力をする。それで上手くいっていると判断されるかもしれない。今の子どもたちは人数が少ないことも部活動が少ないことも知っていて、それでも別院中学校が良いと言って入学している。小規模校にもよいところがあるし、もっと見てほしい。教育委員会は、小さい学校がダメだというような言い方をされる。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>小さい学校がダメということではなくて、必要な教育機会を提供していきたいというのが基本にある。子どもたちが今の状況しか知らないために現状に満足しているのであって、子どもたちからすれば、他のことを知ったら満足しないかもしれない。だから交流事業等を通して、一旦経験していただいた上で、どういう気持ちや思いを持っているかを確認させていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>都合のよい大人の考えにしか聞こえない。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>今実際に通っている子どもや保護者は、それでも良いと選んできていただいていると思う。教育委員会としては、6年生時点では6人おられたが、3人しか入学されなかったので、他の3人はどういった事情で他の学校を選ばれたのかということも考えている。子ども第一に考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>卒業生たちは立派に育っている。いじめ問題についても大きい学校なら逃げられるが、小規模校は逃げ場がないというが、それなりに対処の仕方を学んで、社会性も身に付けている。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>すべてがダメではなく、よいところもある。すべての町に学校があるわけではない。地域に学校があったほうが良いということで、小学校は特認校制度を導入し、何とか残して維持しようとしている。中学校については、もう少し広い範囲で選択いただくことを提案しているのが現状である。おっしゃっていることと、私たちがやろうとしていることが、相反することではない。地域から学校を無くそうとはしていない。中学校は、編入させていただきたいが、小学校は残そうとしている。学校規模適正化基本方針には、いろいろな選択肢があり、</p>

	<p>小学校も曾我部小学校へ統合という選択肢もあった。しかし、教育委員会としては、そういう選択肢ではなくて、小学校についてはなんとか地域に学校を残していきたいと取り組み始めているところで、中学校については一旦編入という形をとるけれど、人口が増加して人数が確保できるのであれば、戻すとか小中一貫校という選択肢も出てくる。</p>
委員	<p>別院中学校の人数がもう少し多いほうがよいということであるが、小学校の様に、別の中学校から別院中学校に来てもらうのはどうか。中学校の特認校の導入はどうか。</p>
教育委員会	<p>小学校の特認校を実施して、隣接する学校から来られる児童がいないという現状をみる限り、中学校に導入したからといってそこまでニーズは高くないと思う。</p>
委員	<p>今回の結果だけではそれは言い切れないのではないか。</p>
教育委員会	<p>初年度のほうが来てもらいやすいのではないか。</p>
委員	<p>親はいいかどうかを口コミで聞いてから判断する。</p>
教育委員会	<p>そういう方もおられると思う。二年目以降は、転校してくるのではなく、新一年生が中心となるのではないか。他の中学校区で通学区域の見直しを議論しているが、保護者の思いとしては、転校を避けたいということへの思いは強い。</p>
委員	<p>今回、特認校として募集して、東別院小は3名、西別院小は1名が来てくれる。これから始まるわけで、特認校については少し猶予をみるという答えをいただいた。なぜ小学校と中学校を切り離して考えるのかわからない。増やしていこうと先生も努力されているのにもかかわらず、なぜ中学校を無くす方向に持っていくのか、理解できないのでそこをしっかりと説明してほしい。</p>
教育委員会	<p>学年に応じた教育が必要で、小学校よりも中学校の方が、対人関係が重要になる。</p>
教育委員会	<p>私たちが基準にしているものとして、学習指導要領があって、その一定の基準に従って、教育を進めていかなければならない。学習指導要領は改定されるので、10～20年前にはゆとりの教育と言われて、授業時間を減らし、ゆとりの部分でいろんな主体的な活動をする場にしろといわれていた。それが検証は十分にされていないが、弊害があったと言われている。それに従って、授業時間が大きく増えるわけではないが、質的には以前に戻ったような授業内容になっていく。しかも、小学校については英語が教科化されるようになってきている。そんな中で、「主体的・対話的で深い学び」が非常に大きなキーワード</p>

	<p>になっていて、以前と比べて講義的な授業だけではだめで、一方的に教員が教えて、それを聞いてノートに取って、記憶して自分の中だけで考えて消化していくやり方ではだめである。やっぱり子ども同士がいろんな意見を交換する中で人の価値観を学んだり、新しいものを発見したりしていきなさいというのが今回の改定の考え方である。そういった場合、今の別院中学校で3人の学年では、悪い言い方であるが、マイナス面が多い。小規模が悪いとか大規模が悪いということではなくて、そういう学習内容を考えるならば、もう少し人数がいたほうが良い。それが7・8人では、そう大きく変わらない。小学校はより個別の対応が必要な発達段階があるが、中学校は一定自立して自分で判断して行動できることがあるので、より大きな集団の中で学んだほうが人格形成などでは有効である。これは、これまでの2年間の学校規模適正化検討会議の中でも会長が、いろいろ研究されている部分も引き出しながら、適正な人数とか教育的な効果というような調査結果的なことは提示していただいた。それに基づいて結論を出してきた。</p>
<p>委員</p>	<p>別院中学校は人数が少ないけれど、今年3人であったことをすごく強調されて、そんな理由で編入と言われているが、実際には別院中学校はへき地校で、人数が少ないことは想定される。先生たちは研究されて少人数の中でも授業が充実するように努力していただいているので、工夫次第で何とでもなっていくと考えられるのではないか。実際に小規模の学校を観られたのか。</p>
<p>教育長</p>	<p>私は教員をしていたし、指導主事もしていたので、複式学級もたくさん観てきた。それが亀岡市外では、ほとんど統合されている。全国でも中学校は大多数が統合している。なぜかという、どこの地域でも議論はあったと思う。地元は残して欲しいし、その気持ちも分からないわけではない。本当に子どもにとってどうかということ、いろんな地域の事例を見ていると、やっぱり子どもたちのために統合しようということにほとんどがなっている。ただし、いくつか小中一貫校として残している学校もある。京都府では綾部市の上林小中学校1校だけで、他は統合した。それは、地元の熱い思いがあって、小中一貫を作って欲しいという動きをされて、何年もかかって作って来られた。この会議では、地域として小学校はぜひ残して欲しいという声を聴いていた。</p>
<p>委員</p>	<p>基本方針の中には、別院以外の小学校も統合することになっていたのではないかと。みんな一緒に統合するならいいが、なぜ別院だけするのか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>もちろん、複式学級になっているところもあるので、できたら統合、編入も考えている。なぜ、東・西別院小学校は早いのかということについては、東・西別院小学校にはすでにスクールバスが備わっており、統合や編入する際のハードルとなる部分がある程度計算できるということがあるので先行している。</p>
<p>委員</p>	<p>交流を1学期から始めて、2学期に判断するのは早急すぎないか。</p>

教育委員会	それがまだ期間が必要であるなら、延長をすることもある。
委員	それが子どもたちに不安を与えている。
教育委員会	そこが難しいところである。不安を与えている部分があるので、早く結論を出したいところと、早く出そうとすれば時間が必要であると言われるところがあり、時間を取れば取るほど、聞く人と実際に動く人に齟齬が出てきて、意見を聞く人ではなくて、次に入ってくる人が学校を動くことになってしまう。そういう状況でいいのか難しいところである。
委員	編入することと、交流することを並行して行うからおかしい。編入ありきで交流するからみんな納得できない。普通は小規模の学校を存続するために、デメリットを解消するために学校間交流という方法があることを文部科学省の手引きにも書いてあった。そういう意味合いでやっていく中で、交流することもいいなとなれば続ければいいが、編入ありきで南桑中学校に慣れるために交流するという点が保護者の納得いかない部分である。大規模の状況を体験できることは大変よいことである。ただ、どうしても平成30年度を目途とされるので、編入ありきになってしまう。
教育委員会	何度も申し上げているように、柔軟に対応していこうと考えている。ただ、こういう期間を長く持つことで、子どもたちの不安の期間が長くなったり、学校が落ち着かなくなる状態になるということも含んでいることから、どこかの時期で適切に判断させていただきたい。編入ありきで進めているわけではない。
委員	別院中学校では、子どもたちも編入するかもしれないことを知っている。南桑中学校では保護者はどれくらい知っているのか。
委員	適正化の方向性については、方針が出ているので知っているかもしれないが、学校のほうから保護者に言ったことはない。決まらないと言えない。
委員	違う学校の保護者で知っている人もいる。教育委員会の誠実さが感じられないから、説明を聞いてもすんなりと落ちない。来年度からは、しっかりと話をしてほしい。
委員	平成30年度から編入することを取り消して欲しい。そのうえで交流事業をするのは良い。
委員	南桑中学校の学校公開の案内があったが、編入の対象となる学年の保護者にしか配られていなかったということは、編入に向けて動いているのではないか。行けば賛成になるから行けなかったという保護者の声もあった。

	<p>市長は議論が足りないと言っていた。賛成の方もいると思うが、反対の方が大半でその声も聞いてもらいたい。それで柔軟に対応してもらえたら安心できる。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>学校公開の案内は、どなたに来ていただいてもよいと考えている。案内にも対象を示していない。ただ、案内チラシを配布する段階で、中学校と相談して、中学校は1年生からとなったが、小学校にも配布した。実際には来ていただけなかったが、どんな雰囲気か見てもらいたいという思いから配布した。</p>
<p>委員</p>	<p>どなたにも来てほしいのであれば、別院の中学生全員に配布すべきではなかったか。今関わりがないからというのではなく、その子どもたちも将来、別院で暮らして、その子どもが通うかもしれないし、関わってくる問題である。町民全員に配るべきではないか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>今後の取組みの際には検討したいが、町民全体に配布して、大勢の方が来られても学校の対応が難しくなることもあるので、工夫しながら進めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今の計画が案であるならば、撤回してほしい。町民説明会でもあれだけの反対の意見が出た。</p>
<p>委員</p>	<p>別院中学校は70年の歴史があり、それを半年で整理できているのか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>そういうことも含めて進めていこうとすると、ゴールが決まらなると何も手が付けられない。そのために先にゴールを決めたいとご提案させていただいている。</p>
<p>委員</p>	<p>市が強引に進めようとしているので、不安になる。私たちは、基本方針の選択肢の中から決めると思っていた。小学校は特認校で、中学校は南桑中学校に編入という1本の案しかなかった。他の意見を議論する間もなかった。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>議論する間もなかったのではなくて、今この会議で議論している。議論するベースを示している。こんなことはできますか、あんなことはできますかという意見を出してもらおう場である。小中一貫校も意見として出していただけたらいい。</p>
<p>委員</p>	<p>ありきで、話をするからみんな納得できないし、結局、行きつくところは編入であったり、休校という話になっている。休校になるとともに戻すのは簡単ではないので、別の小中一貫校であったり、中学校の特認校であったり、そういうことも考えていったらどうか。一方で賛成の方もいらっしゃるの、そういう方の意見も取り入れて考えていくべきなので、平成30年度を前面に出さずに議論していくべきである。</p>

<p>教育長</p>	<p>平成30年4月をどうするかということもあるが、一方では、いつからなのかという子どもの不安感も出てくる。教育委員会の出した案は、途中で止めることはできる。子どもたちには、やがて統合があるということ意識しておいてもらいたいというもある。途中でなくなるかもしれない。そうでなければ、議論がこの先続けば、自分たちはどうなるのかと子どもたちは思っていることになる。どこかで期限を切らなければならない。30年4月がいいのか、31年4月がいいのかはわからない。それは議論したらいい。子どもたちには、この時期だと一定示して、でも議論の中でなくなりましたというのであれば整理したい。一定の危機感の中で、特認校や帰村運動を一生懸命取り組んでいただいている。その中で編入をやめますとなったら、その動きが消える可能性もある。引き続き、別院中学校や東・西別院小学校に来てもらうように、取組を継続してもらいたい。それを見ながら、それでも子どもたちの学習機会がきちんと確保できるのか、今はまだ不安を持っている。小中一貫校にするにしても、東・西別院町がしっかりとスクラムを組んでやっていただかないとできない。学校をどこに建てるのか。仮に別院中学校に建てるのであれば、改修する必要がある。教室を増築し、小学校にはプールが必要である。一旦、別院中学校を空けていただいて、改修をしてから集めるということも考えられないか。あるいは、南桑中学校の分校にして、本校に通いたい人は通えるようにする。そして改修工事の間は本校で勉強して、別院学園のようなものをつくるのか。それは、あくまでも地元の東・西別院町で協議していただいて、これから何年もかけて議論していただかないといけない。これは教育委員会がしたいと思っても、地域にそういう思いがなければできない。今回の議論の中で、何とか南桑中学校に動いていただいて、別院中学校をどうするかということを考えて欲しい。亀岡川東学園は、地元の熱意で新しい学校を建てた。ぜひ、地元から案を出してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>東・西別院町で小中一貫校も検討している。プールの水道の問題もどうするか考えている。これまでは、東・西別院町バラバラで動いていたが、一緒にいろんなことを検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今の中学校1年生は、何も知らされなくて、別院中学校に入学してきたので、別院中学校で卒業させてやりたい。</p>
<p>委員</p>	<p>小規模特認校について、東別院小学校はコミュニティスクールの委員会を立ち上げているが、現状は準備委員会であり、規約が決まれば委員会として動きたい。亀岡市全域にPRもしたいが、非公式な状態である。いつ規約が決まるのか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>東別院小がモデル校になり、全部の小中学校が規約の対象になる。教育委員会が案を作り、各小中学校長と協議して規約を作り上げていきたい。 今のところ9月1日頃を考えている。(会議終了)</p>